

# 7月の物語

2017年(71分)

*Contes de Juillet*

(ロカルノ国際映画祭2017(アクト・オブ・コンペティション部門)  
(シャンゼリゼ映画祭2018(審査員賞))

軽妙さから深刻さへ、ギヨーム・ブラック監督が見せる私たちの世界。  
——カイエ・デュ・ジネマ

戯れの軽妙さや無防備さの裏に、ギヨーム・ブラック監督は密かに階級闘争や人間の暴力性の跡が見える辛辣な政治映画を織り込んでいる。  
——レザンロキュブティブル

ギヨーム・ブラック監督は役者たちの瑞々しさを前面に出し、私たちが予期していなかったところに感動を生じさせる。  
——ポジティブ

## パリと郊外。五人の若い女と五人の若い男。二つの物語。ある夏の日。

『女っ気なし』『やさしい人』のギヨーム・ブラックが、フランス国立高等演劇学校の学生たちと作り上げた2つのパートからなる作品。ヴァカンスシーズンのはじまりに浮きたつ若い男女のささやかな戯れを、2016年7月の現実のパリとその郊外に描き出した。撮影期間はそれぞれ5日間、そして3人の技術スタッフと少ない機材で行った。こうした制約をあえて自らに課すことで、ギヨーム・ブラックは映画に自由な息吹を取り戻し、私たちの世界を映し出している。

(ジャン・ヴィゴ賞2018(短章部門))



### 第一部「日曜日の友だち」(33分)

7月の晴れた日曜日、会社の同僚ミレナとリュシーは、女2人でパリ郊外セルジー＝ポントワーズのレジャーセンターへ遊びに行く。そこで偶然、ジャンという青年と出会い、芽生え始めた2人の友情に亀裂が入る。

(広島国際映画祭2017(観客賞)) (ブリュージュ中篇映画祭2018(審査員スペシャル・メンション))



### 第二部「ハンネと革命記念日」(38分)

7月14日、革命記念日で盛り上がるパリ。国際大学都市に住む女子留学生のハンネは、明日の帰国を前にパリ最後の夜を楽しもうとするが.....

2017年 / フランス / フランス語 / カラー / 71分 / 1.33:1 / 5.1ch / DCP / 原題:Contes de juillet / 日本語字幕:高部義之 / 配給:エタンチュ / © bathysphere - CNSAD 2018

『7月の物語』と併映

## 勇者たちの休息

2016年(38分)

*Le Repos des braves*

スイスとフランスに跨るレマン湖畔からアルプス山脈を抜け、地中海のニースに至る自転車観光ルート「大アルプス・ルート」。約720キロからなるそのルートを縦断しようと毎年6月末、約60人もの自転車愛好家たちが集まってくる。ギヨーム・ブラックは、すでに仕事をリタイアした自転車愛好家たちにカメラを向ける。なぜ寒さや疲れと闘い走ろうとするのか? 家に戻ってから何ができるのか? どうやったら孤独や退屈を逃れられるのか? ギヨーム・ブラックのやさしい眼差しのなかで、彼らは心情を打ち明ける。その告白をとおして、仕事と世界との私たちの関係が見えてくる。

(マルセイユ国際映画祭2016) (ホルド国際インディペンデント映画祭2015(アキターヌ賞))



2016年 / フランス / フランス語 / カラー / 38分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 原題:Le Repos des braves / 日本語字幕:高部義之 / 配給:エタンチュ / © bathysphere productions 2016

2019年6月8日(土)より公開 同日より当劇場にてギヨーム・ブラック特集も開催

contes-juillet.com (近日オープン)

|       | 6/8(土)~14(金) | 6/15(土)~21(金) | 6/22(土)~24(月) | 6/25(火)~28(金) |
|-------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 14:10 | 7月の物語        | 7月の物語         | 7月の物語         | 7月の物語         |
| 16:30 | 女っ気なし        | やさしい人         | 女っ気なし         | やさしい人         |
| 18:40 | 7月の物語        | 7月の物語         | 7月の物語         | 7月の物語         |

EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F  
渋谷文化村前交差点左折

03-3461-0211

www.eurospace.co.jp



●当日料金(税込): 一般1,800円 / 大学・専門学校生1,400円 / 会員・シニア1,200円 / 高校生800円 / 中学生500円

リピーター割引1,300円 ※本特集の半券提示で2回目から1,300円でご覧いただけます。

2017  
ロカルノ国際映画祭  
アクト・オブ・コンペティション

2017  
広島国際映画祭  
観客賞

2018  
ジャン・ヴィゴ賞  
短章部門

2018  
シャンゼリゼ映画祭  
審査員賞

2018  
ブリュージュ中篇映画祭  
審査員スペシャル・メンション

ギヨーム・ブラック 監督

# 7月の物語



*Contes de Juillet*

un film de Guillaume Brac

監督・脚本:ギヨーム・ブラック / 撮影:アラン・ギシャウア / 製作:ニコラ・アントメ

2017年 / フランス / フランス語 / カラー / 71分 / 1.33:1 / 5.1ch / DCP / 原題:Contes de juillet / 字幕翻訳:高部義之 / 配給:エタンチュ / © bathysphere - CNSAD 2018

UNIFRANCE

UNIFRANCE

UNIFRANCE

Mélanges et réalisations de films de France (pour la première partie) et du Département de la Seine-Saint-Denis (pour la seconde partie) en collaboration avec le Centre National du Cinéma et de l'Image Animée (pour la troisième partie) et de l'Institut National de l'Audiovisuel (pour la quatrième partie).

# 女っ気なし Un monde sans femmes

(2011年 アミアン国際映画祭 最優秀中篇賞)  
(2011年 フランス映画批評家組合 最優秀短賞賞)  
(2012年 AlloCinéスタッフ部門 年間ランキング第1位)



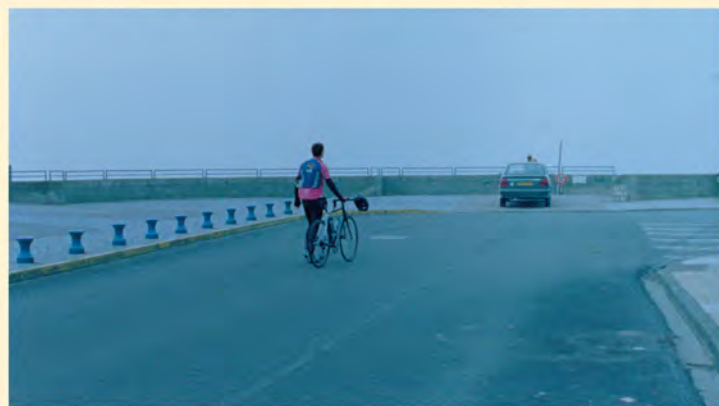
## ヴァカンスの終わり、思い出の始まり

フランス北部の小さな町オルト。夏の終わり、地元の青年シルヴァンが管理するアパートを、ヴァカンスに来た母娘が訪れる。明るくて奔放な母と少し内気な娘。3人は海水浴や買い物をして仲良く過ごしていたが、やがてヴァカンスの終わりが近づき……。

ギヨーム・ブラック監督の劇場デビュー作。フランスで『女っ気なし』は、新人監督の作品としては異例のロングランとなり、ヌーヴェル・ヴァーグを継承する新しい才能の出現と高く評価された。

監督:ギヨーム・ブラック/撮影:トム・アラリ 出演:ヴァンサン・マケーニュ、ロール・カラミー、コンスタンス・ルソー、ロラン・パポ  
2011年 / フランス / フランス語 / カラー / 58分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 原題:Un monde sans femmes © Année Zéro - Nonon Films - Emmanuelle Michaka

## 遭難者 Le Naufragé (『女っ気なし』と併映)



フランス北部の小さな港町オルトで、自転車バンクしたリュック。それを見た地元の青年シルヴァン。シルヴァンはリュックを助けようとするが……。

監督:ギヨーム・ブラック/撮影:トム・アラリ  
出演:ジュリアン・リュカ、ヴァンサン・マケーニュ  
アデライード・ルルー

2009年 / フランス / フランス語 / カラー / 25分 / DCP  
1.85:1 / 5.1ch / 原題:Le Naufragé  
© Année Zéro - Kazak Productions

『遭難者』+『女っ気なし』 フランス / フランス語 / カラー / 本篇83分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 配給:エタンチュ



## やさしい人 Tonnerre

### “ロマンチックだが、代償は大きい”

フランス・ブルゴーニュ地方、まもなく冬を迎える静かな町トネル。パリから一人の男が、父親の住む実家に戻ってくる。かつてはインディーズでそれなりに名を馳せたミュージシャンのマクシム。人気の盛りは過ぎ、目の前にあるのは、先行きのない未来だけ。ギターを手にしても、でてくるフレーズにはどこもなく甘酸っぱさが残るが、若さはもはや過去のもの。しかし人生にはときに素晴らしい贈り物が差し出される。マクシムにはそれは若い恋人だった。だがそれは、かつてない無情な速さで失われてしまう。突然消えたロマンスを追うマクシムは、人生を揺るがしかねない危うい行動にでる——。歳をとるのは難しい。いつからが青年で、いつからが中年なのか。老いは少年の心でもってしても、誰にもやってくる。マクシムはその狭間であがき、苦悩する。しかしその苦悩の果てには、父親との間にあったわだかまりを克服し、そして本当に愛することの意味を見出した、大人の男となったマクシムがいるのだった……。

### 『女っ気なし』のギヨーム・ブラック × 大注目の俳優:ヴァンサン・マケーニュ

『やさしい人』(原題: Tonnerre)は2013年、第66回ロカルノ国際映画祭コンペティション部門に出品されたギヨーム・ブラック監督の長篇第一作である。前作『女っ気なし』で注目を集めたギヨーム・ブラック監督は、本作でも長年の友人であるヴァンサン・マケーニュを念頭に脚本を執筆。当初は『女っ気なし』の続篇も考えていたようだが、ヴァンサン・マケーニュの映画出演作がどれも同じようなコミカルな役柄だったため、敢えて今までは違う人物を演じさせることで、彼の新たな魅力を引き出そうとした。恋人役メロディにはソレーヌ・リゴ。澁刺としたイメージを映画に見事焼きつけた。また父親役のベルナル・メネズが、息子との心の距離を繊細に演じ、深い印象を与えている。

監督:ギヨーム・ブラック/撮影:トム・アラリ 出演:ヴァンサン・マケーニュ/ソレーヌ・リゴ/ベルナル・メネズ  
2013年 / フランス / フランス語 / カラー / 100分 / 1.85:1 / 5.1ch / DCP / 原題: Tonnerre / 日本語字幕:高部義之 / 配給:エタンチュ  
©2013 RECTANGLE PRODUCTIONS - WILD BUNCH - FRANCE 3 CINEMA



### 監督/ギヨーム・ブラック Guillaume Brac

1977年パリ生まれ。配給や製作の研修生として映画にかかわった後、FEMIS(フランス国立映画学校)に入学。専攻は監督科ではなく製作科だが、在学中に短篇を監督している。2008年、僅かな資金、少人数で映画を撮るため、友人と製作会社「アネ・ゼロ」(Année Zéro)を設立する。この会社で『遭難者』『女っ気なし』を製作。2013年、長篇第一作『やさしい人』が、第66回ロカルノ国際映画祭コンペティション部門に出品される。2016年、短篇ドキュメンタリー『勇者たちの休息』。2017年、『7月の物語』を第70回ロカルノ国際映画祭(アウト・オブ・コンペティション部門)へ出品。第一部「日曜日の友だち」はジャン・ヴィゴ賞を受賞(短篇部門)。2018年、長篇ドキュメンタリー「宝島」L'île au trésor。

### フィルモグラフィ

2009年:短篇『遭難者』 Le Naufragé  
2011年:中篇『女っ気なし』 Un monde sans femmes  
2013年:長篇第一作『やさしい人』 Tonnerre  
2016年:『勇者たちの休息』 Le Repos des brave  
2017年:『7月の物語』 Contes de juillet  
2018年:『宝島』 L'île au trésor

ギヨーム・ブラック監督のドキュメンタリー『宝島』と同監督のセレクションによる特集

アンスティチュ・フランセ東京にて  
6月初旬開催予定!

詳細は以下のサイトにてお知らせします。  
<https://www.institutfrancais.jp/tokyo/>